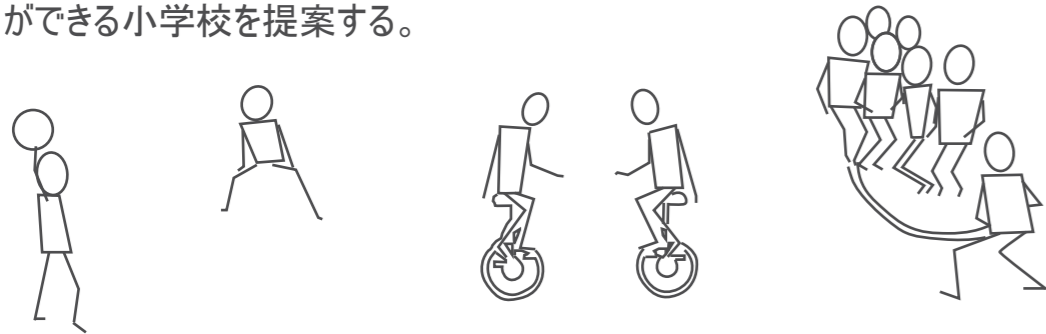


# 学び交わりの輪

茂木スタジオ 21910440 山口真奈

## ■ コンセプト

埼玉県草加市立新田小学校は、老朽化しさらに少子高齢化で近年児童数が減少している。しかし、周辺の小学校に比べ特別支援学級の児童が増加している。また、私の親戚の経験やアルバイトで出会った子供達の話聞き、障がいがあるから特別支援学級で教育を受けるという環境に疑問を抱いた。そこで、私は通常学級と特別支援学級が交わり共にのびのびと学ぶことができる小学校を提案する。

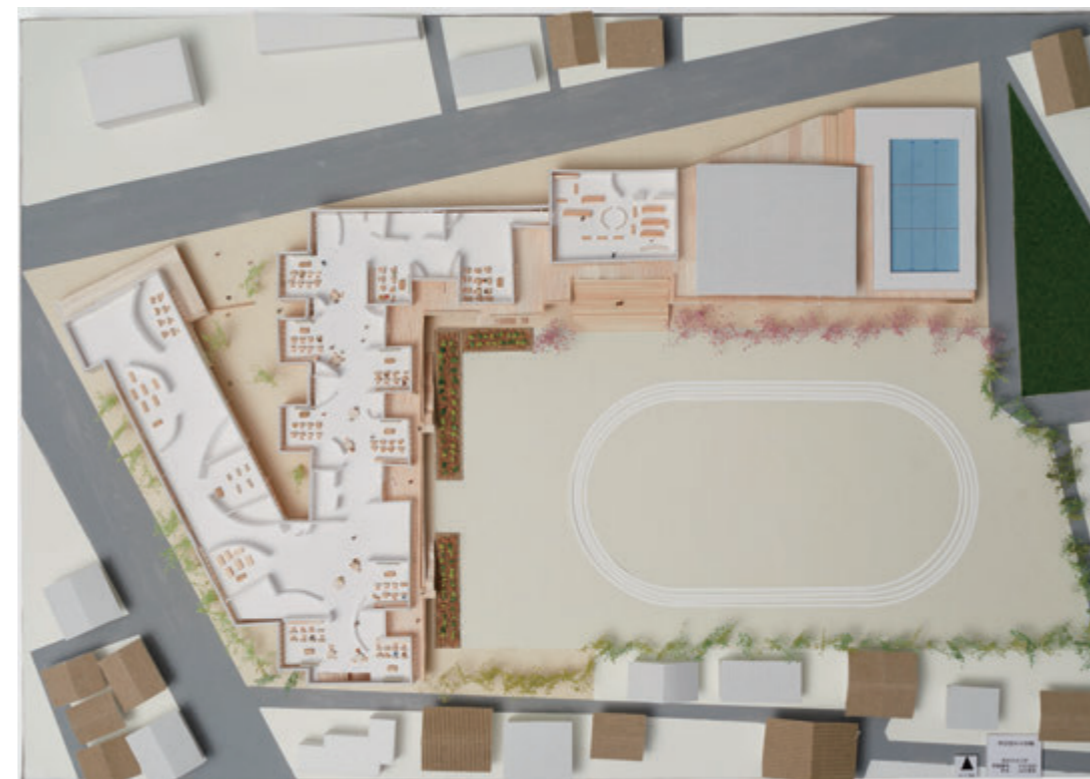


## ■ 計画敷地

### 草加市立新田小学校

住所：埼玉県草加市旭町 6-12  
敷地面積：16161 m<sup>2</sup>  
児童数：1クラス 30人  
1学年 3クラス  
特別支援学級 2クラス

草加市立新田小学校の特徴は、給食。栄養士の先生が献立を考え、学校で調理している。学校には畑があり、畑で採れた野菜が使われている。

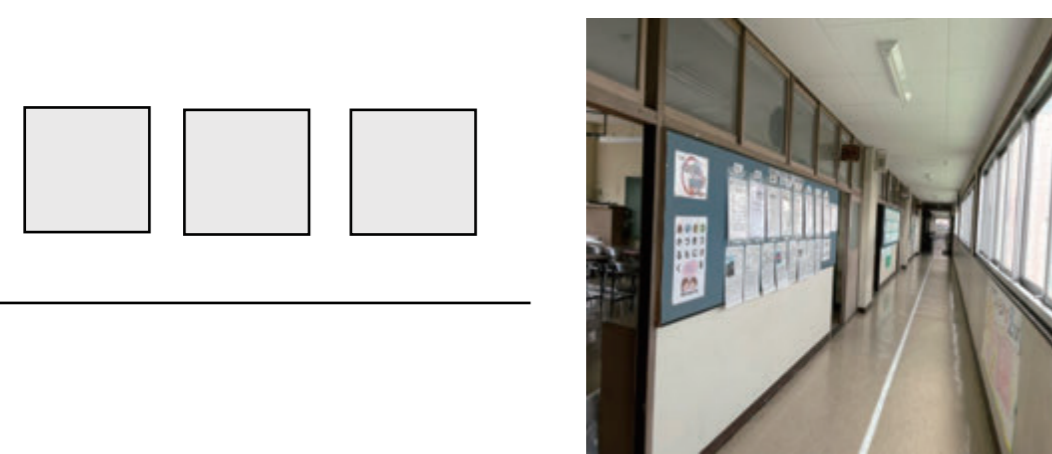


## ■ 特別支援学級の児童たちの特性

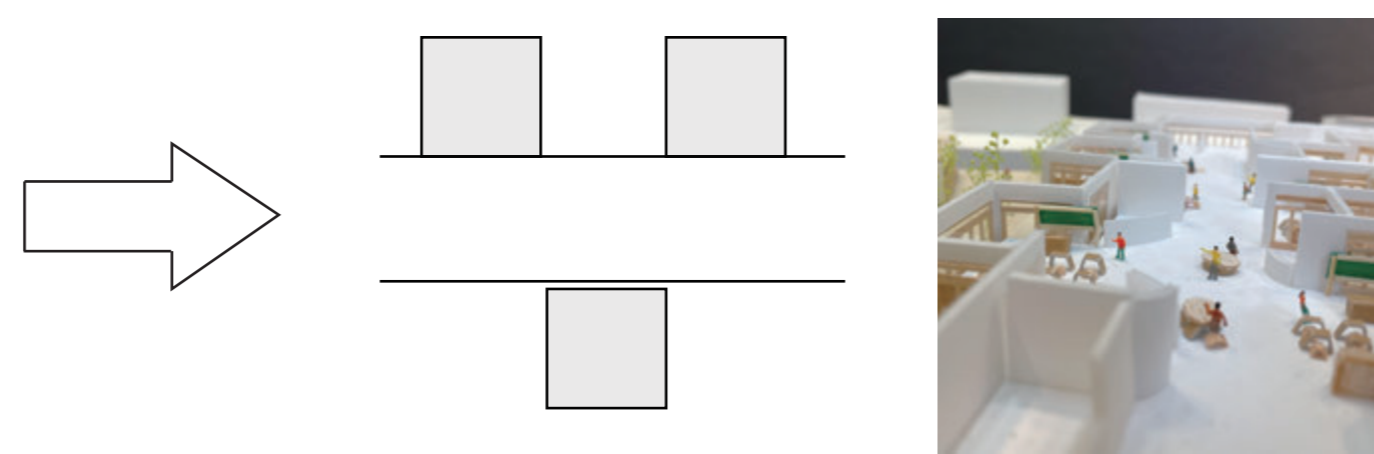
ヒアリング調査を実施した結果、以下のようことが分かった。

- |                                       |                                      |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 【多動症】<br>静かな環境が苦手。<br>じっとしているのが難しい。   | 【注意欠陥多動性障害】<br>落ち着きがない。<br>エネルギーに動く。 |
| 【自閉症】<br>周りの音が気になる。<br>周りの視線やモノが気になる。 | 【その他の障がい】<br>我慢が困難。<br>体が動いてしまう。     |

## ■ 各学年クラスルームまわりのダイヤグラム



教室が横に並び、廊下を上手く活用できない。  
他学年との交流が少なく、教室のみでの活動しかできない。

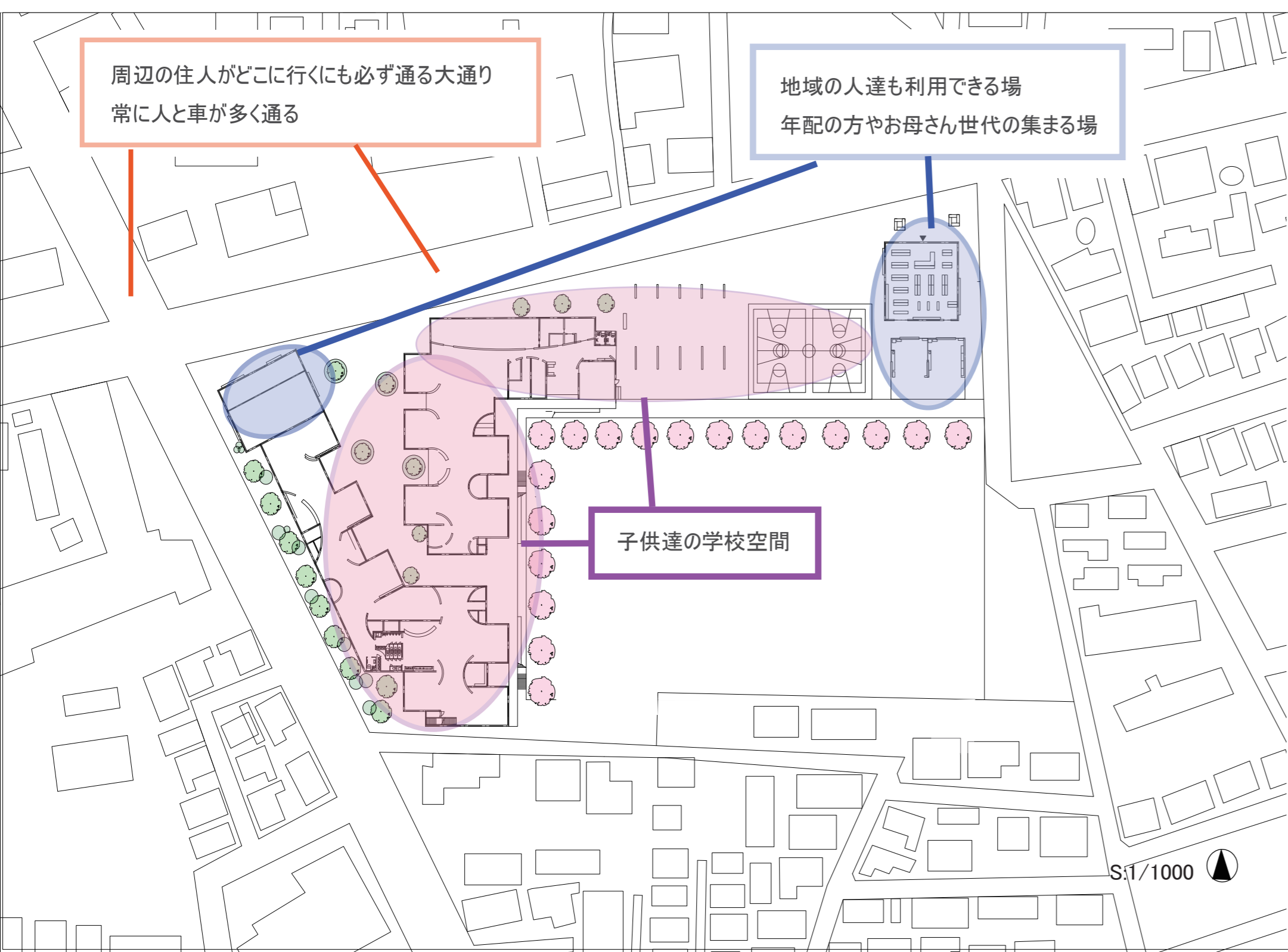


教室を前後に並び、真ん中に空間をつくる。  
多目的スペースができることで、他学年との交流ができる。  
授業やグループワークとしても利用できる。

## ■ 様々な選べる居場所の提案



## ■ 敷地ゾーニング・配置計画



## ■ 各学年クラスルームまわりのプランニング

